

令和5年度

第1回 恵庭市公営企業経営審議会

- ・令和4年度 公営企業会計決算について

令和5年9月6日

恵庭市水道部経営管理課

目次

1. 公営企業会計について 1 ページ
2. 令和4年度水道事業決算状況 7 ページ
3. 令和4年度下水道事業決算状況 17 ページ

1. 公営企業会計について

1 公営企業会計について

【地方公営企業とは】

- ・ 地方公共団体が、**住民の福祉の増進**を目的として設置し、経営する企業。
- ・ 企業としての**経済性**を発揮する必要があるため、一般の官公庁会計と異なった企業会計という経理方式（複式簿記）を採用し、経営状況を正確に把握することが可能となっている。
- ・ 恵庭市では水道事業と下水道事業の**2事業**が該当。
- ・ 主に「水道料金」と「下水道使用料」の料金収入で経費をまかなっている。

1 公営企業会計について

【公営企業会計と官公庁会計の違い】

①現金主義ではなく、**発生主義**である

現金の収支にかかわらず経済活動の発生事実に基づき整理される。（複式簿記採用）

②**期間計算**（費用配分）の考え方がある

その年度の収益の獲得につながったと考えられる部分だけがその年度の費用として整理される。

③**損益計算**と**資本取引**の区分がある

1年間の経営成績を表す収益的収支、施設の建設・改良等の事業費とその財源を表す資本的収支の2つの収支がある。

④**資産、負債及び資本**の概念がある

「資産」は資金の運用形態を示し、「負債及び資本」は資金の調達方法等を示す。※資産 = 負債 + 資本

⑤**予算**及び**決算**の双方を重視する

歳出の規制だけでなく、経済性の発揮が求められている。

1 公営企業会計について

【収益的収支と資本的収支】

■収益的収支（3条）

1年間の企業活動に伴い発生する収益と費用を表したもの

- 施設の維持管理、事業を運営するための費用とその財源
- 当年度の収益と費用を表す

■資本的収支（4条）

施設の建設など支出の効果が翌年度以降に及ぶものや、企業債の元金償還などの支出とその財源となる収入を表したもの

- 施設を建設・整備するための支出と企業債の借入などの財源
- 翌年度の収益的収支に影響

○公営企業においては、資本的収支の収入が支出に対し不足するため、収益的収支からの利益や損益勘定留保資金※1（減価償却費※2等）で補てん（穴埋め）することが一般的

※1 損益勘定留保資金：現金支出を伴わない費用によって企業内に残る資金

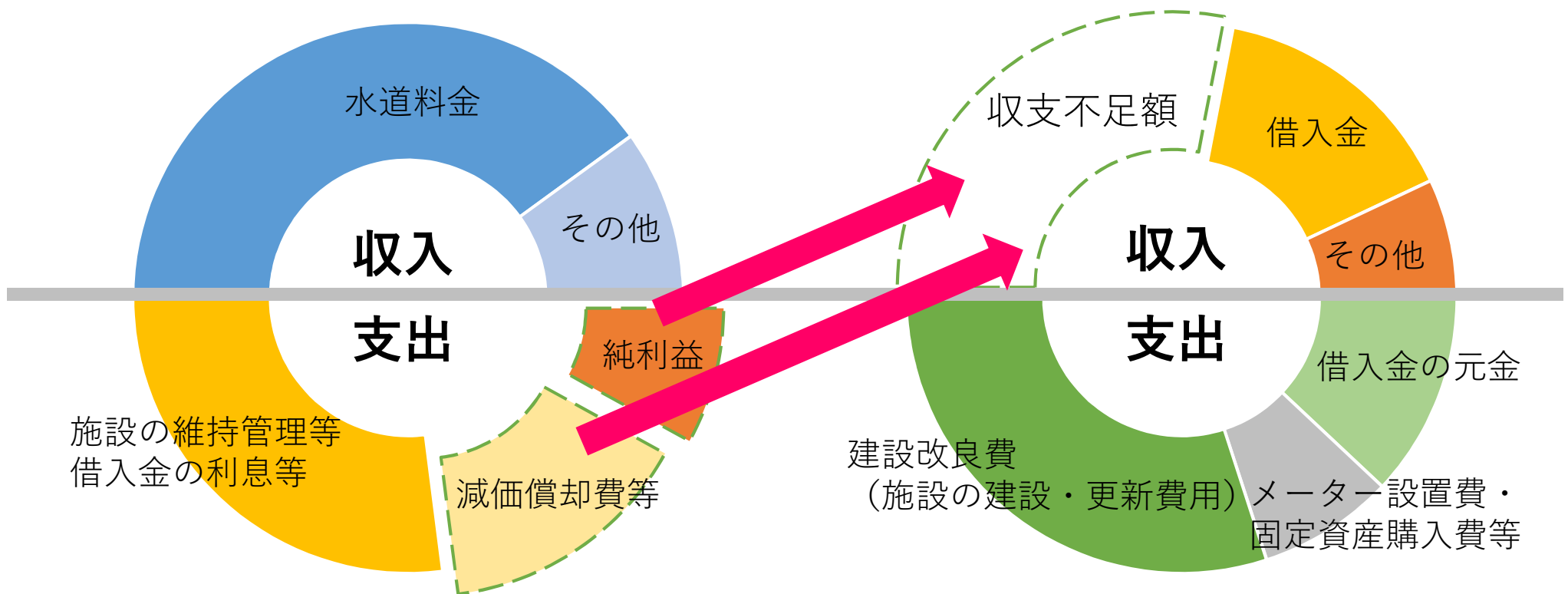
※2 減価償却費：固定資産の経年的な価値の減少を毎事業年度の費用として計上するもの

1 公営企業会計について

【収益的収支と資本的収支の関係】

収益的収支（3条予算）

資本的収支（4条予算）



2. 令和4年度水道事業決算状況

2 令和4年度水道事業決算状況 (予算対比)

【収入支出の概要】

■収益的収支 (3条) 参照：12～13ページ

(単位：千円)

	令和4年度予算(a)	令和4年度決算(b)	増減b-a	増減率	令和3年度決算(c)	増減(b-c)
収益的収入(A) 税込	1,653,620	1,668,732	15,112	0.9%	1,687,636	△18,904
(税抜)	(1,513,779)	(1,528,773)	(14,994)	(1.0%)	(1,546,611)	(△17,838)
収益的支出(B) 税込	1,515,635	1,480,179	△35,456	△2.3%	1,508,427	△28,248
(税抜)	(1,431,848)	(1,393,936)	(△37,912)	(△2.7%)	(1,421,241)	(△27,305)
差引(A-B)	137,985	188,553	50,568	36.7%	179,209	9,344
純利益 (税抜)	(81,931)	(134,837)	(52,906)	(64.6%)	(125,370)	(9,467)

主な増減理由 (予算対比) (消費税込み)

- ・収入 給水収益(家事用外)の増加(13,100千円)、その他営業収益(下水道事務負担金等)の減少(△3,214千円)、長期前受金戻入の増加(4,970千円)
- ・支出 配水及び給水費(修繕費・委託料等)の減少(△15,439千円)、総係費(人件費・委託料等)の減少(△14,757千円)、減価償却費の減(△6,146千円)

■資本的収支 (4条)

参照：14ページ

(単位：千円、消費税込み)

	令和4年度予算(a)	令和4年度決算(b)	増減b-a	増減率	令和3年度決算(c)	増減(b-c)
資本的収入(A)	326,900	309,200	△17,700	△5.4%	201,880	107,320
資本的支出(B)	839,088	795,353	△43,735	△5.2%	790,567	4,786
収支不足(A-B)	△512,188	△486,153	△26,034	5.1%	△588,687	102,534

主な増減理由 (予算対比) (消費税込み)

- ・収入 一般会計出資金の減少(△17,700千円)
- ・支出 工事請負費の減少(工事の延期による執行残の発生)(△24,720千円)、メーター設置費の減少(△14,529千円)

2 令和4年度水道事業決算状況 (主な概況)

令和4年度決算「建設改良費等」の特徴

1 令和4年度 建設改良費 (工事請負費の前年対比と主な増減)	491,777千円	(前年比 5,892千円)	(消費税込み)
(千円)			

①配水管布設工事 φ50～φ150 L=786.1m	34,511 (前年比 △9,498)	(R3繰越) 0件 (0路線) (R4現年) 5件 (5路線) [内、ゼロ市債：3件]	φ50-φ150	786.1m	34,511
②配水管布設替工事 φ50～φ150 L=8,958.5m	396,832 (前年比 30,502)	(R3繰越) 0件 (0路線) (R4現年) 18件 (34路線) [内、ゼロ市債：5件]	φ50-φ150	8,958.5m	396,832
③その他工事	1,155 (前年比 △14,905)	柏木配水池無停電電源装置更新工事		1式	1,155
④メーター取替工事	59,279 (前年比 △207)	φ13 3,594件、φ20 242件 他 合計 3,908件			59,279

※直接的に水道施設の資産経費に資する経費として、建設改良費のうち工事請負費を計上。

※建設改良費のうちメーター工事請負費を計上。

2 令和4年度 水道事業受贈財産	952千円	(消費税抜き)
(千円)		

島松旭町1丁目284番地外造成工事	移管元	郷土建設株式会社	配水管	PEP φ 50	75.4m	952
-------------------	-----	----------	-----	----------	-------	-----

3 令和4年度 給水工事設計審査申請・検定収益状況	20,584千円	(消費税込み)
---------------------------	----------	---------

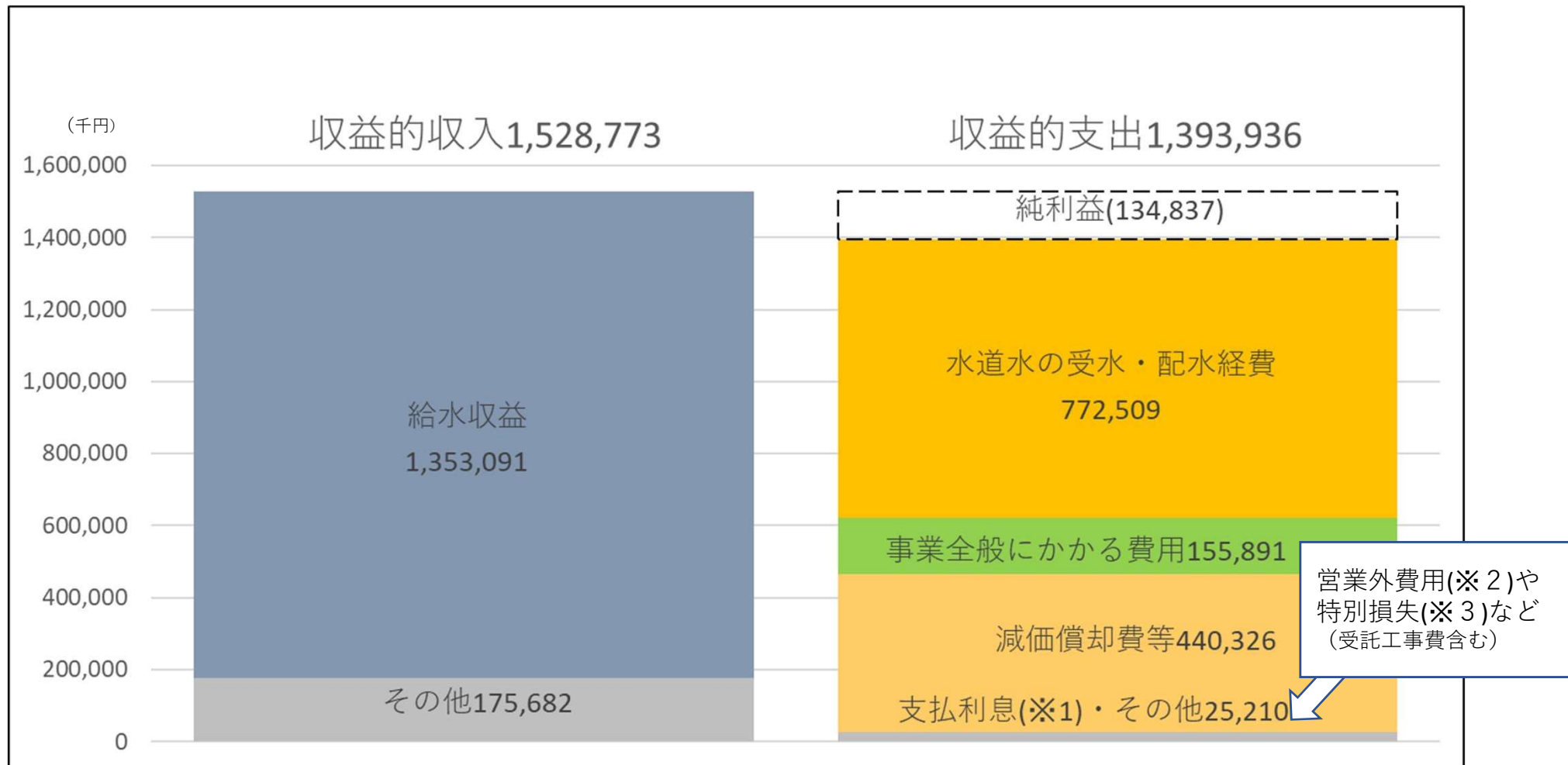
(単位：円)

区分	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
新設	294	17,878,700	332	18,179,500	337	16,710,400
改造	23	365,700	38	1,008,500	23	519,500
その他	190	2,338,700	167	2,725,900	140	1,223,300
計	507	20,583,100	537	21,913,900	500	18,453,200

2 令和4年度水道事業決算状況 (決算の姿)

■収益的収支 (3条) 消費税抜き

参照：15～16ページ



営業外費用(※2)や
特別損失(※3)など
(受託工事費含む)

※1 支払利息：借入金（企業債）に対する利息

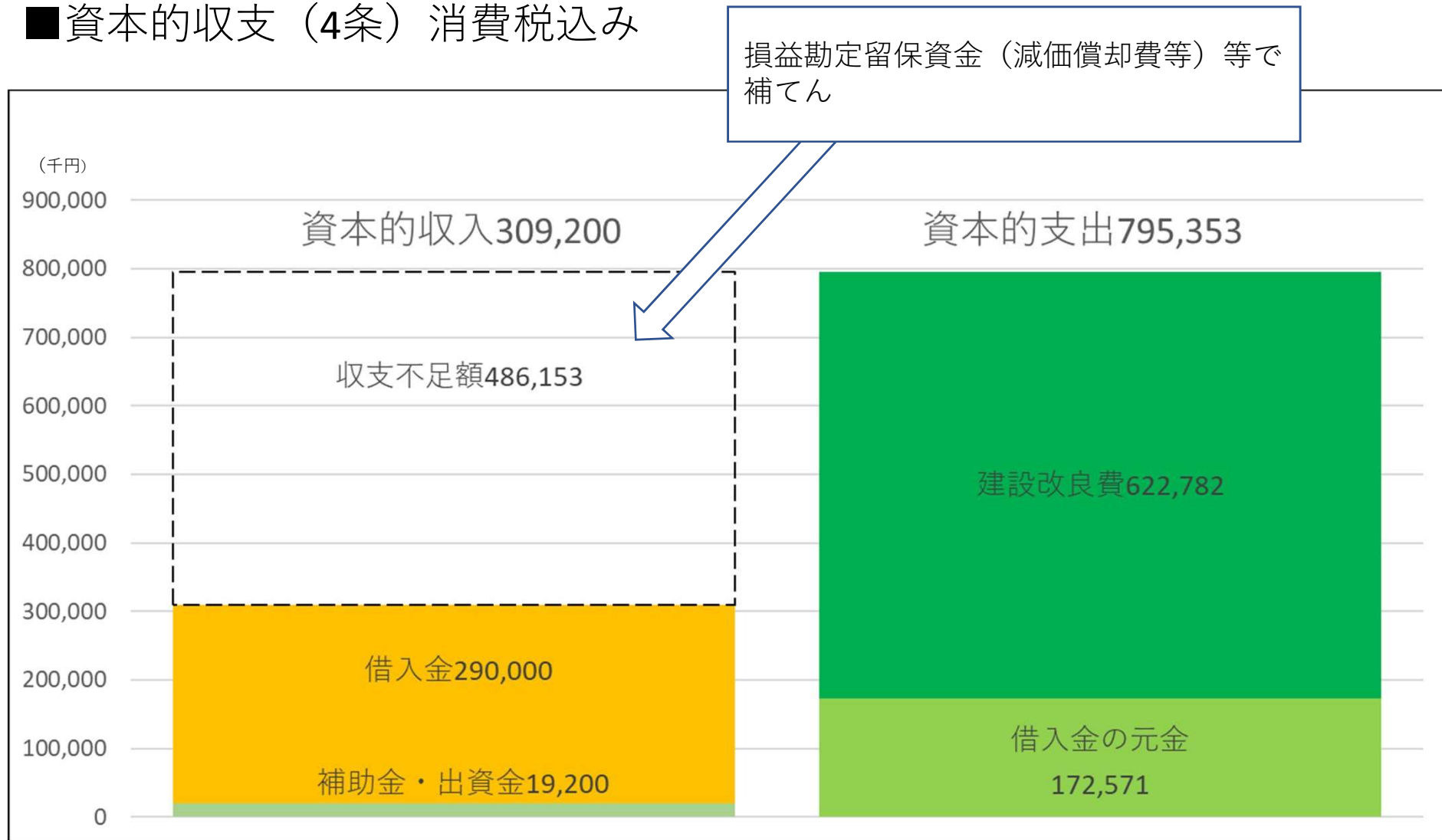
※2 営業外費用：水道事業の主たる営業活動以外から生じる費用

※3 特別損失：当期の費用に計上することが不適当な費用（臨時的な費用や過年度分の水道料金還付金など）

2 令和4年度水道事業決算状況 (決算の姿)

参照：14ページ

■資本的収支（4条）消費税込み



出資金：一般会計又は他会計から特別に出資されたもの

① 予算決算比較表（消費税込み）

1 収益的収支

（収益的収入）

（単位：円・％） （消費税込み）

科目	令和4年度				令和3年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (B-A)	決算額(C)	
1. 営業収益	1,591,498,000	1,600,369,223	100.6	8,871,223	1,619,028,576	△ 18,659,353
（1）給水収益	1,475,238,000	1,488,338,484	100.9	13,100,484	1,476,176,600	12,161,884
（2）受託事業収益	46,642,000	45,626,961	97.8	△ 1,015,039	55,891,241	△ 10,264,280
（3）その他営業収益	69,618,000	66,403,778	95.4	△ 3,214,222	86,960,735	△ 20,556,957
2. 営業外収益	62,122,000	68,362,817	110.0	6,240,817	68,554,042	△ 191,225
（1）受取利息及び配当金	9,000	248,901	2765.6	239,901	129,036	119,865
（2）他会計負担金	2,189,000	1,847,000	84.4	△ 342,000	2,816,000	△ 969,000
（3）長期前受金戻入	58,066,000	63,035,895	108.6	4,969,895	58,924,749	4,111,146
（4）雑収益	1,858,000	3,231,021	173.9	1,373,021	6,684,257	△ 3,453,236
3. 特別利益	0	0	—	0	53,014	△ 53,014
（1）過年度損益修正益	0	0	—	0	53,014	△ 53,014
合計	1,653,620,000	1,668,732,040	100.9	15,112,040	1,687,635,632	△ 18,903,592

■ 主な増減の要因（予算対比）	
1. 営業収益	（予算比8,871千円）
（1）給水収益	家事用外給水収益の増（34,675千円）
（2）受託事業収益	消火栓更新整備工事に係る受託事業収益の減（△993千円）
（3）その他営業収益	人件費分の減少による下水道事務負担金の減（△6,918千円）
2. 営業外収益	（予算比6,241千円）
（1）受取利息及び配当金	定期預金利率の上昇による増（240千円）
（2）他会計負担金	人事異動による児童手当支給額減に伴う一般会計繰入金（負担金）の減（△342千円）
（4）雑収益	廃棄分解メーター売却代の増（1,396千円）

(収益的支出)

(単位：円・%) (消費税込み)

科目	令和4年度				令和3年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (B-A)	決算額(C)	
1. 営業費用	1,489,915,000	1,453,624,076	97.6	△ 36,290,924	1,476,865,267	△ 23,241,191
(1) 受水費	745,971,000	746,286,598	100.0	315,598	744,905,137	1,381,461
(2) 配水及び給水費	113,074,000	97,634,756	86.3	△ 15,439,244	113,164,689	△ 15,529,933
(3) 受託工事費	5,951,000	5,005,000	84.1	△ 946,000	11,924,000	△ 6,919,000
(4) 総係費	179,129,000	164,372,083	91.8	△ 14,756,917	169,463,476	△ 5,091,393
(5) 減価償却費	410,257,000	404,111,155	98.5	△ 6,145,845	402,318,335	1,792,820
(6) 資産減耗費	35,533,000	36,214,484	101.9	681,484	35,089,630	1,124,854
2. 営業外費用	21,052,000	25,811,104	122.6	4,759,104	30,289,640	△ 4,478,536
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	20,811,000	19,873,704	95.5	△ 937,296	23,990,040	△ 4,116,336
(2) 消費税及び 地方消費税	231,000	5,937,400	2570.3	5,706,400	6,299,600	△ 362,200
(3) 雑支出	10,000	0	0.0	△ 10,000	0	0
3. 特別損失	1,000,000	743,381	74.3	△ 256,619	1,272,507	△ 529,126
(1) 過年度損益 修正損	1,000,000	743,381	74.3	△ 256,619	1,272,507	△ 529,126
4. 予備費	2,000,000	0	0.0	△ 2,000,000	0	0
(1) 予備費	2,000,000	0	0.0	△ 2,000,000	0	0
合計	1,513,967,000	1,480,178,561	97.8	△ 33,788,439	1,508,427,414	△ 28,248,853

■ 主な増減の要因 (予算対比)

1. 営業費用	(予算比△36,291千円)
(2) 配水及び給水費	人事異動及び人事院勧告による 人件費(手当等)の減(△810千円) 修繕工事件数の減少に伴う修繕費の減 (△8,327千円) 委託料の減 (水道施設整備等維持管理委託料の減△1,155千円、 水道事業用地除草委託料の減△400千円)
(4) 総係費	人事異動及び人事院勧告による 人件費(給料,手当等)の減(△9,409千円) 印刷単価減少に伴う印刷製本費の減(△465千円) 委託料の減 (料金システムカスタマイズの減△722千円、 会計システムカスタマイズの減△106千円)
(5) 減価償却費	R3年度登録の固定資産減による(△6,146千円)

2 資本的収支

(資本的収入)

(単位：円・%) (消費税込み)

科目	令和4年度				令和3年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (B-A)	決算額(C)	
1. 企業債	290,000,000	290,000,000	100.0	0	178,900,000	111,100,000
(1) 企業債	290,000,000	290,000,000	100.0	0	178,900,000	111,100,000
2. 補助金	0	0	0.0	0	9,080,000	△ 9,080,000
(1) 道補助金	0	0	0.0	0	9,080,000	△ 9,080,000
3. 出資金	36,900,000	19,200,000	52.0	△ 17,700,000	13,900,000	5,300,000
(1) 出資金	36,900,000	19,200,000	52.0	△ 17,700,000	13,900,000	5,300,000
合計	326,900,000	309,200,000	94.6	△ 17,700,000	201,880,000	107,320,000

■ 主な増減の要因 (予算対比)	
3. 出資金	(予算比△17,700千円)
(1) 出資金	一般会計出資金の減(△17,700千円)

(資本的支出)

(単位：円・%) (消費税込み)

科目	令和4年度				令和3年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (B-A)	決算額(C)	
1. 建設改良費	664,516,000	622,782,512	93.7	△ 41,733,488	617,938,267	4,844,245
(1) 水道施設整備費	506,914,000	479,546,193	94.6	△ 27,367,807	468,623,603	10,922,590
(2) メーター設置費	120,141,000	105,611,809	87.9	△ 14,529,191	108,181,264	△ 2,569,455
(3) 固定資産購入費	37,461,000	37,624,510	100.4	163,510	41,133,400	△ 3,508,890
2. 企業債償還金	172,572,000	172,571,314	100.0	△ 686	172,628,444	△ 57,130
(1) 企業債償還金	172,572,000	172,571,314	100.0	△ 686	172,628,444	△ 57,130
3. 予備費	2,000,000	0	0.0	△ 2,000,000	0	0
(1) 予備費	2,000,000	0	0.0	△ 2,000,000	0	0
合計	839,088,000	795,353,826	94.8	△ 43,734,174	790,566,711	4,787,115

■ 主な増減の要因 (予算対比)	
1. 建設改良費	(予算比△41,733千円)
(1) 水道施設整備費	工事の整備年次延期による執行残の発生(△24,720千円)
(2) メーター設置費	メーター購入等の減(△11,802千円)
(3) 固定資産購入費	ハンディ単価増による執行残の発生(166千円)

② 損益計算書前年度比較表（消費税抜き）

（収 入）

（単位：円）

収益の部				
科 目	令和4年度	令和3年度	前年度比較増減	要 因
総収益（A）	1,528,773,188	1,546,610,700	△ 17,837,512	
1. 営業収益	1,460,589,552	1,478,491,116	△ 17,901,564	
（1）給水収益	1,353,091,416	1,342,035,455	11,055,961	家事用外給水収益の増（有収水量の増）
（2）受託事業収益	41,491,501	50,810,227	△ 9,318,726	
（3）その他営業収益	66,006,635	85,645,434	△ 19,638,799	人件費分の減少による下水道事務負担金の減
2. 営業外収益	68,183,636	68,070,833	112,803	
（1）受取利息及び配当金	248,901	129,036	119,865	
（2）他会計負担金	1,847,000	2,816,000	△ 969,000	人事異動による児童手当支給額減に伴う一般会計繰入金（負担金）の減
（3）長期前受金戻入	63,035,895	58,924,749	4,111,146	
（4）雑収益	3,051,840	6,201,048	△ 3,149,208	廃棄分解メーター売却代の減
3. 特別利益	0	48,751	△ 48,751	
（1）過年度損益修正益	0	48,751	△ 48,751	

(支 出)

(単位：円)

費用の部				
科 目	令和4年度	令和3年度	前年度比較増減	要 因
総費用 (B)	1,393,936,480	1,421,240,698	△ 27,304,218	
1. 営業費用	1,373,275,683	1,395,048,213	△ 21,772,530	
(1) 受水費	678,442,371	677,186,499	1,255,872	
(2) 配水及び給水費	94,066,342	108,798,702	△ 14,732,360	修繕費（修繕件数）の減
(3) 受託工事費	4,550,000	10,840,000	△ 6,290,000	消火栓更新整備工事における金額の減
(4) 総係費	155,891,331	160,815,047	△ 4,923,716	人事異動による人件費の減
(5) 減価償却費	404,111,155	402,318,335	1,792,820	R3年度登録の固定資産増による
(6) 資産減耗費	36,214,484	35,089,630	1,124,854	除却資産の増
2. 営業外費用	19,917,416	24,919,978	△ 5,002,562	
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	19,873,704	23,990,040	△ 4,116,336	償還による発行企業債の元金減少による
(2) 雑支出	43,712	929,938	△ 886,226	
3. 特別損失	743,381	1,272,507	△ 529,126	
(1) 過年度損益修正損	743,381	1,272,507	△ 529,126	漏水減免の減による還付減
当年度純利益 (A) - (B)	134,836,708	125,370,002	9,466,706	
前年度繰越利益剰余金	0	0	0	
その他未処分利益剰余金変動額	125,370,002	168,573,952	△ 43,203,950	
当年度未処分利益剰余金	260,206,710	293,943,954	△ 33,737,244	

3. 令和4年度下水道事業決算状況

3 令和4年度下水道事業決算状況（予算対比）

【収入支出の概要】

■収益的収支（3条）

参照：22～23ページ

（単位：千円）

	令和4年度予算(a)	令和4年度決算(b)	増減(b-a)	増減率	令和3年度決算(c)	増減(b-c)
収益的収入(A)税込	2,805,039	2,776,342	△ 28,697	△1.0%	2,800,326	△ 23,984
（税抜）	(2,684,548)	(2,662,047)	(△22,501)	(△0.8%)	(2,685,717)	(△23,670)
収益的支出(B)税込	2,670,478	2,583,016	△ 87,462	△3.4%	2,529,421	53,595
（税抜）	(2,614,851)	(2,526,524)	(△88,327)	(△3.5%)	(2,467,802)	(58,722)
差引(A-B)	134,561	193,326	58,765	30.4%	270,905	△ 77,579
純利益（税抜）	(69,697)	(135,523)	(65,826)	(48.6%)	(217,915)	(△82,392)

主な増減理由（予算対比）（消費税込み）

- ・収入 下水道使用料の増加(31,841千円)、雨水処理負担金の減少(△14,549千円)、他会計補助金の増加(27,212千円)
他会計負担金の減少(△57,266千円)
- ・支出 運営管理費の減少(管渠費の減 △16,228千円、処理場費の減 △51,952千円、個別排水処理費の減△4,544千円、
水質規制費の減 △1,380千円、業務費の減 △3,460千円、総係費の減 △1,891千円)
減価償却費の増加(3,040千円)

■資本的収支（4条）

参照：24ページ

（単位：千円、消費税込み）

	令和4年度予算(a)	令和4年度決算(b)	増減(b-a)	増減率	令和3年度決算(c)	増減(b-c)
資本的収入(A)	1,419,099	1,080,062	△ 339,037	△31.4%	864,472	215,590
資本的支出(B)	2,280,495	1,899,782	△ 380,713	△20.0%	1,745,176	154,606
収支不足(A-B)	△ 861,396	△ 819,720	41,676	△5.1%	△ 880,704	60,984

主な増減理由（予算対比）（消費税込み）

- ・収入 企業債借入の減少(公共下水道整備事業費等の繰越および執行残による △232,700千円)
補助金の減少(補助対象事業の減による △103,400千円)
- ・支出 公共下水道整備費の執行残(国庫補助金の当初配分に伴う事業の先送り、工事繰越や入札差金の発生による)(△358,693千円 内、繰越等分 98,000千円)、個別排水処理施設整備費の減少(△18,205千円)

3 令和4年度下水道事業決算状況（主な概況）

令和4年度決算「繰入金・建設改良費」の特徴

1 令和4年度 一般会計繰入金（前年対比と主な増減） 749,258千円（前年比+ 1,001千円）（不課税収入）

①公共下水道（716,270／前年比+ 1,063）（千円）

営業収益	雨水処理負担金	517,118	（前年比+ 2,536）	雨水に係る維持管理費（人件費、修繕費等）の増 ※労務単価や資材単価の上昇等
営業外収益	他会計補助金（基準外）	47,690	（前年比△18,614）	資本費に係る交付税措置相当額を繰入金として最低保障するための補填額の減（分流式下水道等に要する経費の増に伴う“負の相関”による減）
	他会計負担金	46,741	（前年比+20,385）	汚水に係る維持管理費（人件費、修繕費等）の増 ※労務単価や資材単価の上昇等
資本的収入	他会計出資金	104,721	（前年比△ 3,244）	特別措置分元金償還金の減

②個別排水処理施設（32,988／前年比△ 62）（千円）

営業外収益	他会計負担金	28,828	（前年比+ 29）	横ばい
資本的収入	他会計出資金	4,160	（前年比△ 91）	横ばい

2 令和4年度 下水道整備費 820,488千円（前年比+116,787千円）（税込）

①管渠等整備工事 558,108 (R3:611,188) (R3実績 参考) 分流化(汚水2,370m)、老朽化対策(汚水130m) 浸水対策(雨水859m)、汚水整備 (汚水357m)	分流化	福住町・末広町・緑町・京町・新町	污水管	φ200	2,346m		372,053		
	老朽化対策	緊急輸送路；茂漁通埋設管	污水管	φ250	29m		2,948		
	雨水整備	戸磯跨線橋架替関連、西島松、島松寿町	雨水管	φ250～1350	364m		158,939		
	汚水整備	恵み野西、島松寿町	污水管	φ150～φ200	53m		6,611		
	その他施設整備		汚水柵等		柵新設、布設替		17,557		
②終末処理場整備工事 258,255 (R3:79,525)	老朽化対策	汚泥濃縮機外更新(JS協定)			1/2年目繰越分(R3→R4)、2/2年目		176,000		
	老朽化対策	除塵機外更新(JS協定)			1/2年目		30,430		
	老朽化対策	濃縮棟屋上防水、中央監視機器更新					14,675		
	耐震化	流入渠、放流渠外 耐震補強(JS協定)			繰越分(R3→R4)		37,150		
③個別排水処理施設整備費 4,125 (R3:12,988) (R3実績 参考) 5人槽 5基、7人槽 2基	生活排水処理率の向上	合併処理浄化槽の整備			5人槽1基、7人槽1基		4,125		

※直接的に下水道施設の資産形成に資する経費として、建設改良費のうち工事請負費、日本下水道事業団(JS)への建設工事委託協定(委託料)を計上。

3 令和4年度 下水道受贈財産 22,443千円（税抜）

島松旭町1丁目開発行為	移管元	土地所有者	雨水管 φ250～φ500 L=96m、污水管 φ200 L=61m				8,273,720
島松旭町2丁目開発行為	移管元	フジコーポレーション株式会社	公共汚水柵 4箇所				1,406,000
下水道法第16条に基づく個人設置公共汚水柵	移管元	坂口水道設備(株) 外	公共汚水柵35箇所				12,763,011

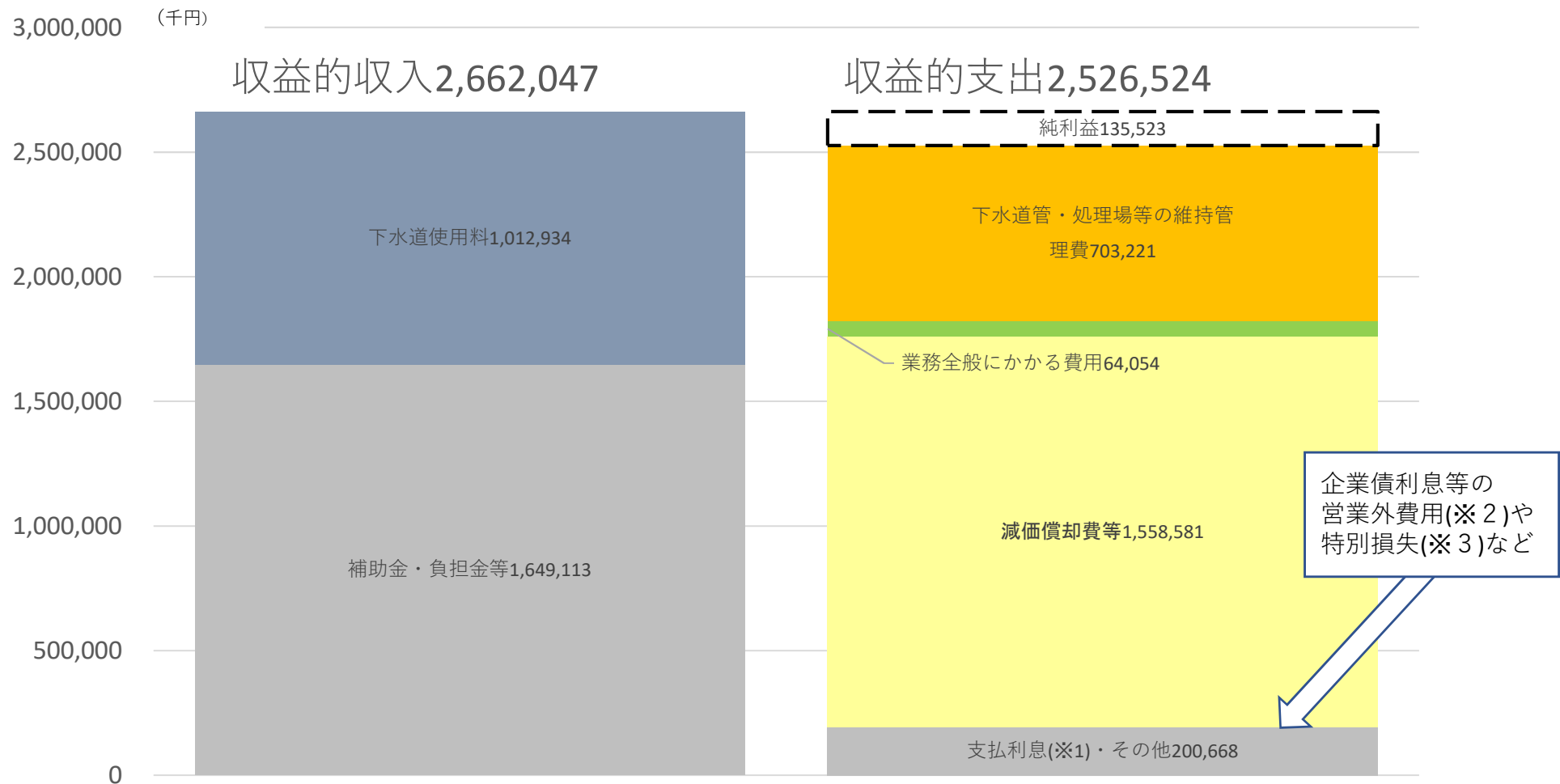
4 令和4年度 下水道整備費繰越工事(R4→R5) 98,000千円（税込）

繰越工事	管渠整備事業(耐震化)	50,000	補助金	21,801	企業債	28,100	内部留保	99
	処理場整備事業(老朽化対策)	48,000	補助金	24,000	企業債	24,000	内部留保	0

3 令和4年度下水道事業決算状況（決算の姿）

参照：25～26ページ

■収益的収支（3条）消費税抜き



※1 支払利息：借入金（企業債）に対する利息

※2 営業外費用：下水道事業の主たる営業活動以外のから生じる費用

※3 特別損失：当期の費用に計上することが不適当な費用（臨時的な費用や過年度分の下水道使用料還付金など）

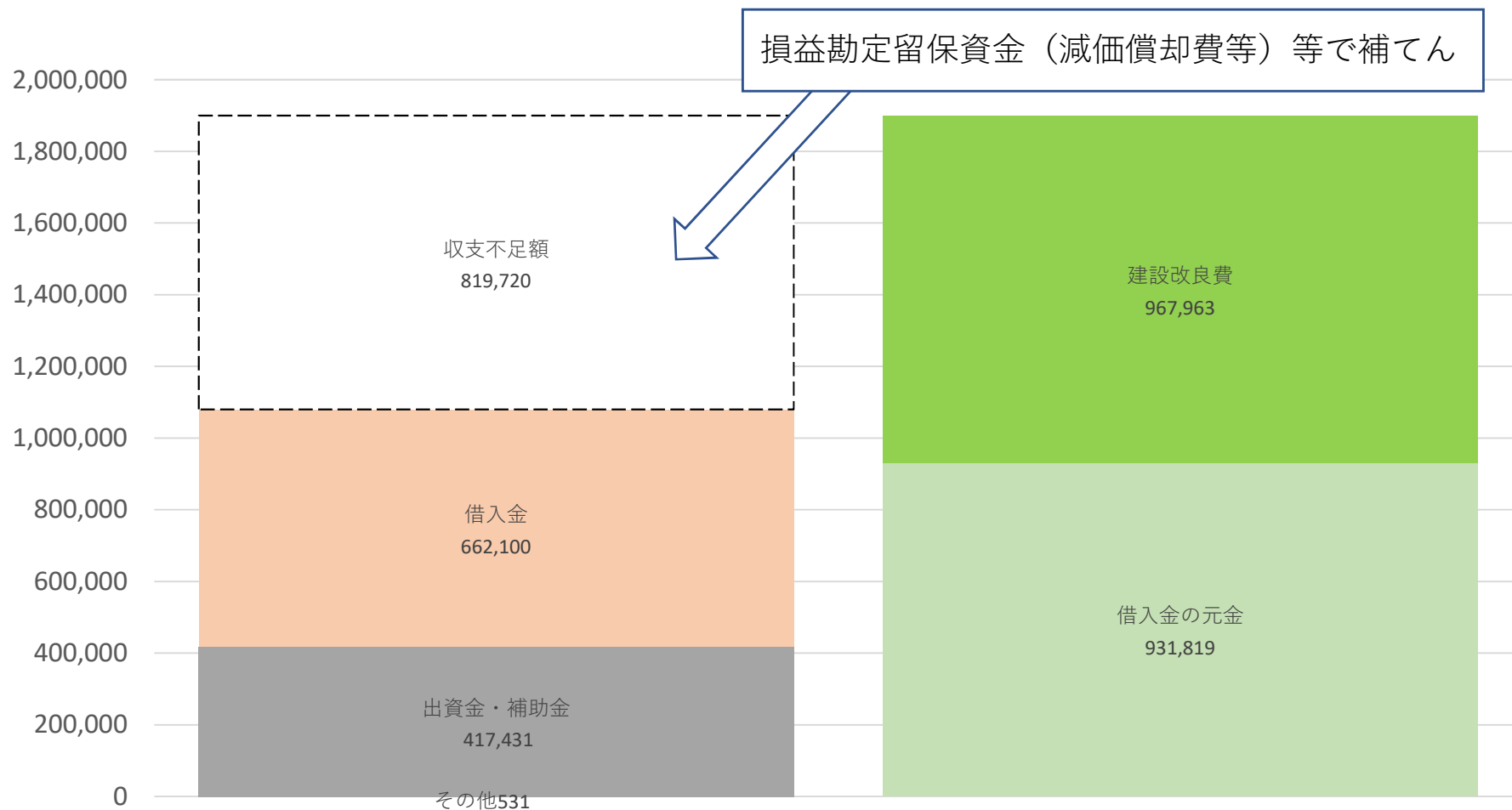
3 令和4年度下水道事業決算状況（決算の姿）

参照：24ページ

■資本的収支（4条）消費税込み

資本的収入1,080,062

資本的支出1,899,782



※出資金：一般会計又は他会計から特別に出資されたもの

① 予算決算比較表（消費税込み）

1 収益的収支

一般会計繰入金

(収益的収入)

(単位：円・%) (消費税込み)

科目	令和4年度				令和3年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (B-A)	決算額(C)	
1. 営業収益	1,706,361,000	1,719,149,475	100.7	12,788,475	1,711,592,461	7,557,014
(1) 下水道使用料	1,082,327,000	1,114,168,208	102.9	31,841,208	1,088,330,062	25,838,146
(2) 雨水処理負担金	531,667,000	517,117,740	97.3	△ 14,549,260	514,582,215	2,535,525
(3) 受託事業収益	74,382,000	71,857,500	96.6	△ 2,524,500	70,832,300	1,025,200
(4) その他営業収益	17,985,000	16,006,027	89	△ 1,978,973	37,847,884	△ 21,841,857
2. 営業外収益	1,098,678,000	1,057,170,523	96.2	△ 41,507,477	1,045,706,473	11,464,050
(1) 受取利息及び 配当金	17,000	429,463	2526.3	412,463	284,381	145,082
(2) 補助金	27,500,000	22,300,000	81.1	△ 5,200,000	10,107,000	12,193,000
(3) 他会計補助金	20,477,000	47,689,791	232.9	27,212,791	66,303,934	△ 18,614,143
(4) 他会計負担金	132,835,000	75,568,974	56.9	△ 57,266,026	55,155,182	20,413,792
(5) 消費税及び地方 消費税還付金	8,222,000	0	-	△ 8,222,000	0	0
(6) 長期前受金戻入	831,182,000	829,697,891	99.8	△ 1,484,109	831,597,892	△ 1,900,001
(7) 雑収益	78,445,000	81,484,404	103.9	3,039,404	82,258,084	△ 773,680
3. 特別利益	0	21,948	0.0	21,948	43,027,162	△ 43,005,214
(1) 固定資産売却益	0	0	-	0	0	0
(2) 過年度損益 修正益	0	21,948	-	21,948	43,027,162	△ 43,005,214
合計	2,805,039,000	2,776,341,946	99	△ 28,697,054	2,800,326,096	△ 23,984,150

(消費税込み)

■ 主な増減の要因 (予算対比)	
1. 営業収益	(予算比 12,788千円)
(1) 下水道使用料	下水道使用料の増 31,841千円 (家事用外 21,808千円)
(2) 雨水処理負担金	一般会計繰入金(維持管理費・人件費及び物件費の減) (△12,071千円)
(3) 受託事業収益	受託事業に係る委託料の減(△1,968千円)
(4) その他営業収益	基線跨線橋工事に伴う移転補償費の減(△2,055千円)
2. 営業外収益	(予算比 △41,507千円)
(1) 受取利息及び配当金	預金利息率の上昇による増(284千円)
(2) 補助金	補助対象事業費の減(△5,200千円)
(3) 他会計補助金	資本費交付税措置相当分の減(分流式下水道等に要する 経費の減に伴う“負の相関”による増 26,776千円)
(4) 他会計負担金	分流式下水道等に要する経費の減(△57,723千円) 水質規制費の減(△1,380千円) 高度処理費の減(△2,569千円)
(6) 長期前受金戻入	R3年度登録の固定資産の減による(△1,484千円)
(7) 雑収益	バイオガス売却収益の増(3,759千円)
3. 特別利益	(予算比 22千円)
(2) 過年度損益修正益	過年度損益修正益の増(22千円)

(収益的支出)

(単位：円・%) (消費税込み)

科目	令和4年度				令和3年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (B-A)	決算額(C)	
1. 営業費用	2,477,368,464	2,392,806,733	96.6	△ 84,561,731	2,315,496,738	77,309,995
(1) 管渠費	142,532,675	126,304,593	88.6	△ 16,228,082	77,397,061	48,907,532
(2) 処理場費	535,699,740	483,747,542	90.3	△ 51,952,198	448,980,371	34,767,171
(3) 個別排水処理費	31,186,000	26,641,574	85.4	△ 4,544,426	26,112,766	528,808
(4) 水質規制費	4,136,000	2,755,801	66.6	△ 1,380,199	2,959,000	△ 203,199
(5) 水洗化促進費	7,702,049	7,647,049	99.3	△ 55,000	5,157,839	2,489,210
(6) 生ごみ・し尿処理場維持管理受託費	70,843,000	68,436,792	96.6	△ 2,406,208	67,459,828	976,964
(7) 業務費	57,688,000	54,227,998	94.0	△ 3,460,002	59,338,042	△ 5,110,044
(8) 総係費	66,305,000	64,414,054	97.1	△ 1,890,946	69,633,491	△ 5,219,437
(9) 減価償却費	1,553,953,000	1,550,913,426	99.8	△ 3,039,574	1,550,488,117	425,309
(10) 資産減耗費	7,323,000	7,717,904	105.4	394,904	7,970,223	△ 252,319
2. 営業外費用	190,099,536	189,858,606	99.9	△ 240,930	213,350,045	△ 23,491,439
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	135,402,465	135,402,465	100.0	0	146,291,325	△ 10,888,860
(2) 消費税	7,300,400	7,300,400	100.0	0	20,009,600	△ 12,709,200
(3) 長期前払消費税等償却	10,865,000	10,624,070	97.8	△ 240,930	9,854,073	769,997
(4) 雑支出	36,531,671	36,531,671	100.0	0	37,195,047	△ 663,376
3. 特別損失	1,010,000	350,540	34.7	△ 659,460	573,747	△ 223,207
(1) 固定資産売却損	10,000	0	0.0	△ 10,000	0	0
(2) 過年度損益修正損	1,000,000	350,540	35.1	△ 649,460	573,747	△ 223,207
4. 予備費	2,000,000	0	0.0	△ 2,000,000	0	0
合計	2,670,478,000	2,583,015,879	96.7	△ 87,462,121	2,529,420,530	53,595,349

■ 主な増減の要因 (予算対比)	
1. 営業費用	(予算比 △84,562千円)
(1) 管渠費	人件費の減 (△3,705千円) 委託料の減 (管渠調査委託料の減 △11,563千円) 修繕費の減 (△189千円)
(2) 処理場費	修繕費の減 (△14,560千円)・動力費の減 (△15,476千円) 委託料の減 (処理場運転管理委託料の減 △12,556千円)
(3) 個別排水処理費	修繕費の減 (修繕件数の減 △3,978千円)
(4) 水質規制費	委託料の減 (保守実施個所の減 △1,380千円)
(6) 生ごみ・し尿処理場維持管理受託費	・委託料の減 (処理場運転管理委託料の減 △1,570千円)
(7) 業務費	負担金の減 (△3,459千円)
(8) 総係費	旅費の減 (△228千円) 印刷費の減 (△673千円) 研修費の減 (△372千円)

■ 繰越予算 (R4→R5) 処理場修繕

13,497千円	バイオ汚泥貯留攪拌機整備工事 (6,600千円) 生ごみ・汚泥混合槽攪拌機整備工事 (6,897千円)
----------	--------------------------------------------------------

2 資本的収支

(資本的収入)

(単位：円・%) (消費税込み)

科目	令和4年度				令和3年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (B-A)	決算額(C)	
1. 企業債	894,800,000	662,100,000	74.0	△ 232,700,000	573,500,000	88,600,000
2. 補助金	411,950,000	308,550,000	74.9	△ 103,400,000	176,850,000	131,700,000
3. 他会計出資金	109,726,000	108,881,252	99.2	△ 844,748	112,216,491	△ 3,335,239
4. 負担金	0	0	-	0	606,460	△ 606,460
5. 分担金	2,233,000	530,960	23.8	△ 1,702,040	1,298,740	△ 767,780
6. 水洗化貸付事業 収入	390,000	0	-	△ 390,000	0	0
合 計	1,419,099,000	1,080,062,212	76.1	△ 339,036,788	864,471,691	215,590,521

■主な増減の要因 (予算対比)	
1. 資本的収入	(予算比 △339,037千円)
(1) 企業債	公共下水道事業等の執行減による借入減 (△232,700千円)
(2) 補助金	補助対象事業費の減による減 (△103,400千円)

■繰越予算 (R4→R5)

52,100千円	企業債
45,801千円	補助金

(資本的支出)

(単位：円・%) (消費税込み)

科目	令和4年度				令和3年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (B-A)	決算額(C)	
1. 建設改良費	1,346,284,000	967,963,352	71.9	△ 378,320,648	794,538,141	173,425,211
(1) 公共下水道整備費	1,322,531,600	963,838,352	72.9	△ 358,693,248	772,420,441	191,417,911
(2) 個別排水処理施設整備費	22,330,000	4,125,000	18.5	△ 18,205,000	12,987,700	△ 8,862,700
(3) 固定資産購入費	1,422,400	0	0.0	△ 1,422,400	9,130,000	△ 9,130,000
2. 企業債償還金	931,821,000	931,818,449	100.0	△ 2,551	950,637,650	△ 18,819,201
4. 返還金	0	0	-	0	0	0
5. 予備費	2,000,000	0	0.0	△ 2,000,000	0	0
合 計	2,280,495,000	1,899,781,801	83.3	△ 380,713,199	1,745,175,791	154,606,010

■主な増減の要因 (予算対比)	
1. 資本的支出	(予算比 380,713千円)
(1) 公共下水道整備費	委託料・工事請負費の減 (補助金当初配分に伴う 事業の先送り、事業の繰越や入札差金などによる 減 △236,098千円) 水道等移設負担金の皆減 (△11,001千円)
(2) 個排事業費	個別排水処理施設設置件数の減 (△18,205千円)

■繰越予算 (R4→R5) 工事請負費

48,000千円	恵庭市下水終末処理場乾改築工事委託 (ストックマネジメント)
----------	--------------------------------

■繰越予算 (R4→R5) 委託料

50,000千円	管渠耐震化工事 (管渠耐震化)
----------	-----------------

②損益計算書前年度比較表（消費税抜き）

（収 入）

（単位：円）

収益の部				
科 目	令和4年度	令和3年度	前年比較増減	要 因
総収益（A）	2,662,047,086	2,685,717,054	△ 23,669,968	
1. 営業収益	1,611,383,253	1,606,268,518	5,114,735	
（1）下水道使用料	1,012,934,486	989,445,419	23,489,067	家事用外使用料の増
（2）雨水処理負担金	517,117,740	514,582,215	2,535,525	雨水分維持管理費の増
（3）受託事業収益	65,325,000	64,393,000	932,000	定期修繕・動力費の増
（4）その他営業収益	16,006,027	37,847,884	△ 21,841,857	基線跨線橋架替工事補償費の減
2. 営業外収益	1,050,643,861	1,039,793,612	10,850,249	
（1）受取利息及び配当金	429,463	284,381	145,082	預入額の増による利息の増
（2）補助金	22,300,000	10,107,000	12,193,000	補助対象事業費の増
（3）他会計補助金	47,689,791	66,303,934	△ 18,614,143	資本費交付税措置相当分補助の減（分流式下水道等に要する経費の増に伴う“負の相関”による減）
（4）他会計負担金	75,568,974	55,155,182	20,413,792	汚水分維持管理費の増による分流式下水道等に要する経費の増
（5）長期前受金戻入	829,697,891	831,597,892	△ 1,900,001	国庫補助金戻入の減
（6）雑収益	74,957,742	76,345,223	△ 1,387,481	バイオガス売却収益の減
3. 特別利益	19,972	39,654,924	△ 39,634,952	
（1）過年度損益修正益	19,972	39,654,924	△ 39,634,952	過年度修正益の減

(支 出)

(単位:円)

費用の部				
科 目	令和4年度	令和3年度	前年比較増減	要 因
総費用 (B)	2,526,524,342	2,467,801,933	58,722,409	
1. 営業費用	2,325,855,989	2,255,488,393	70,367,596	
(1) 管渠費	115,159,214	70,645,530	44,513,684	修繕費・委託料の増
(2) 処理場費	440,673,757	409,335,278	31,338,479	委託料・動力費の増
(3) 個別排水処理費	24,446,378	23,962,428	483,950	委託料の増
(4) 水質規制費	2,505,274	2,690,000	△ 184,726	
(5) 水洗化促進費	7,647,049	5,157,839	2,489,210	人件費の増
(6) 生ごみし尿処理場維持管理受託費	62,215,270	61,327,135	888,135	動力費・修繕費の増
(7) 業務費	50,574,083	55,399,626	△ 4,825,543	人件費・委託料の減
(8) 総係費	64,053,634	68,539,217	△ 4,485,583	委託料の減
(9) 減価償却費	1,550,913,426	1,550,488,117	425,309	償却資産の増
(10) 資産減耗費	7,667,904	7,943,223	△ 275,319	除却資産の減
2. 営業外費用	200,317,813	211,739,793	△ 11,421,980	
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	135,402,465	146,291,325	△ 10,888,860	企業債利息の減(企業債現在高の減)
(2) 長期前払消費税等償却	10,624,070	9,854,073	769,997	
(3) 雑支出	54,291,278	55,594,395	△ 1,303,117	バイオガス売却収益の減による
3. 特別損失	350,540	573,747	△ 223,207	
(1) 過年度損益修正損	350,540	573,747	△ 223,207	
当年度純利益 (A) - (B)	135,522,744	217,915,121	△ 82,392,377	
その他未処分利益剰余金変動額	217,915,121	178,251,121	39,664,000	
当年度未処分利益剰余金	353,437,865	396,166,242	△ 42,728,377	

(消費税抜き)